

定住促進奨学金（大学一般奨学金に加算）について

公益財団法人山口県ひとづくり財団では、山口県内への人口定住を促進するため、大学に在学し本財団の一般奨学金を受ける学生のうち、卒業後山口県内に定住する意思のある者に対して、定住促進奨学金を加算して貸与しています。

1 名称

「定住促進奨学金（大学一般奨学金に加算）」

2 概要

大学（短期大学を含む。以下同じ）卒業後、山口県内の企業等へ就職し、山口県内に定住したいと考えている本財団奨学生に対して、一般奨学金貸与額に上乗せして貸与する奨学金です。

3 定住の定義

この定住促進奨学金に係る「定住」とは、大学卒業後に継続して5年以上山口県内に住所を有することをいいます。

4 貸与額

一般奨学金貸与月額に定住促進奨学金貸与月額（20,000円）を加えた金額

5 貸与条件

大学卒業後（上級学校へ進学し返還猶予した者は猶予満了後、以下同じ）、山口県内に定住する意思があることが条件です。また、定住確認のため、返還が始まる年から5年間（計6回）にわたり、毎年4月1日現在の住民票を提出していただくこととなります。

6 返還期間及び返還期限

定住促進奨学金を含む奨学金の返還は、大学卒業後、6か月据え置いて始まり、貸与期間の4倍の期間と20年のいずれか長い方の期間内に全額返還してください。返還期限を過ぎても奨学金の返還が完了しないときは、返還期限の翌日から残元金に対して年5.0%の延滞利息が生じます。

7 定住促進奨学金の利息の取扱い

定住の定義に該当する場合は、利息の支払いは必要ありません。5年未満で県外に転出する場合（県内に定住できない場合）は、定住促進奨学金として上乗せをして貸与した定住促進奨学金の返還未済額に対して年3.0%の定住利息の支払いが生じます。

専修学校（専門課程等）定住促進奨学金貸与制度について

公益財団法人山口県ひとづくり財団では、将来社会に貢献し得る人材の育成を目的として、向学心に富み有能な素質を有しながら、経済的な理由により修学が困難であり、卒業後山口県内の企業等へ就職し、山口県内に定住したいと考えている県内専修学校生に対して、定住促進奨学金を貸与しています。

1 名称

「定住促進奨学金（専修学校専門課程・高等課程〈高校卒業者〉）」

2 概要

山口県内への人口定住を促進するため、定住促進奨学金制度を設置し、県内の専修学校専門課程・高等課程（高校卒業者）に在学し、卒業後山口県内に定住する意思のある者を対象とした奨学金です。

3 定住の定義

この定住促進奨学金に係る「定住」とは、専修学校卒業後に継続して5年以上山口県内に住所を有することをいいます。

4 対象及び資格

- (1) 保護者等が山口県内に住所を有しており、県内の専修学校に在学している者
- (2) 卒業後、山口県内の企業等へ就職し、山口県内に定住したいと考えている者
- (3) 向学心に富み有能な素質を有し、経済的な理由により修学が困難と認められる者
- (4) 日本学生支援機構やその他の団体の貸与型の奨学生でない者

5 奨学金の内容（貸与月額、募集期間、貸与期間）

区 分		貸 与 月 額	募 集 期 間	貸 与 期 間
国公立	1～3年次生	63,000円	4月8日 ～	学校が定める 修業年限以内 (4月分から貸与)
私 立	1～4年次生	71,000円	5月9日	

6 貸与条件

専修学校卒業後、山口県内に定住する意思があることが条件です。また、定住確認のため、返還が始まる年から5年間（計6回）にわたり、毎年4月1日現在の住民票を提出していただくことになります。

7 返還期間及び返還期限

定住促進奨学金の返還は、専修学校卒業後、6か月据え置いて始まり、最長20年の期間内に全額返還してください。返還期限を過ぎても奨学金の返還が完了しないときは、返還期限の翌日から残元金に対して年5.0%の延滞利息が生じます。

8 定住促進奨学金の利息の取扱い

定住の定義に該当する場合は、利息の支払いは必要ありません。5年未満で県外へ転出する場合（県内に定住できない場合）は、貸与金額の返還未済額に対して年3.0%の定住利息の支払いが生じます。